## 2020年度 立数新座中学校(問題)

5 10 点満点の数学の確認テストを受けた 20 人の得点と人数をまとめたところ,次の表のようになりました。また,この 20 人の得点の平均は 6.25 点でした。次の問いに答えなさい。

得点(点)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人数(人)	0	1	0	1	3	(ア)	3	(1)	2	3	-	20

- (1) 表の(ア), (イ)にあてはまる数を答えなさい。
- (2) 確認テストは問題数が 4 問あり、それぞれの問題の配点は問題 1 が 1 点、問題 2 が 2 点、問題 3 が 3 点、問題 4 が 4 点です。問題 3 を正解した人は 12 人、問題 4 を正解した人は 15 人いました。問題 3 だけ正解した人はいませんでした。また、得点が 5 点の人で、問題 2 を正解した人はいませんでした。
  - ① 得点が7点の人が、全員正解した問題がありました。この問題番号を答えなさい。
  - ② 得点が7点の人で、問題3を正解した人は何人いましたか。
  - ③ 問題2を正解した人は何人いましたか。
  - ④ 問題1を正解した人は何人いましたか。

## 2020年度 立数新座中学校(解説)

5

(1) 5点の生徒と7点の生徒の人数の合計は

 $20-(1\times 3+2+3\times 3)=20-14=6$ 人で、

合計得点は

 $6.25 \times 20 - (1 \times 1 + 3 \times 1 + 4 \times 3 + 6 \times 3 + 8 \times 2 + 9 \times 3 + 10 \times 1)$ = 125 - (1 + 3 + 12 + 18 + 16 + 27 + 10) = 125 - 87 = 38 点。 つるかめ算から、

5 点の生徒は $(7 \times 6 - 38) \div (7 - 5) = 4 \div 2 = 2 人,$ 

7点の生徒は6-2=4人。よって、ア=2、イ=4 です。

(2) (1), (3), (1), (2), (3), (1), (2), (3), (4)3, 4) (1)(2, 4) (1), (2), (1), (4), (1), **(4)**) (1) 1(2), 3, 4 5 得点(点) 6 0 1 2 3 8 9 10 計 人数(人) 0 1 0 1 3 3 2 3 1 20

(〇は問題番号)

- ① 得点が 7 点の人が正解した問題は問題 1, 2, 4 または問題 3, 4 なので, 全員が正解したのは問題 4 です。
- ② 上表から、問題 3 を正解したのは 10 点の 1 人、9 点の 3 人、8 点の 2 人、の計 4 人と 4 点の人のうち問題 1、3 の正解者、6 点の人のうち問題 1、2、3 の正解者、7 点人のうち問題 3、4 の正解者で全部で 12 人。よって、問題 1、3 の正解者と問題 1、2、3、問題 3、4 の正解者は合わせて 12 (1 + 3 + 2) = 6 人・・・(あ)。
  - また、問題 4 を正解したのは 10 点 1 人、9 点の 3 人、8 点の 2 人、7 点の 4 人、5 点の 2 人、4 点の人のうち問題 4 の正解者、6 点の人のうち問題 2、4 の正解者で全部で 15 人。

よって、問題 4 のみの正解者と問題 2、4 の正解者は合わせて 15-(1+3+2+5+1)=15-12=3 人。 したがって、問題 1、3 と問題 1、2、3 の正解者は合わせて 4 点の人と 6 点の人の人数から 3 人を引いた人数なので、

(3+3)-3=3 人。 · · (い)

- (あ), (い)から、問題 3、4の正解者は6-3=3人。 つまり、得点が7点で問題 3を正解した人は3人です。
- ③ ②より、得点が7点で問題2を正解したのは4-3=1人。 よって、問題2を正解した人は 3点の人が1人、6点の人が3人、7点の人が1人、9点の人が3人、 10点の人が1人なので、全部で 1+3+1+3+1=9人です。

## ④ 問題1を正解した人は,

1 点の人が 1 人, 3 点の人が 1 人, <u>4 点の人で問題 1, 3 の正解者, 6 点の人で問題 1, 2, 3 の正解者が計 3 人</u>, 5 点の人が 2 人, 7 点の人で問題 1, 2, 4 の正解者が 1 人, 8 点の人が 2 人, 10 点の人が 1 人なので,全部で 1 + 1 + 3 + 2 + 1 + 2 + 1 = <u>11 人</u> いました。

